

海岸漂着物対策推進事業について

【目的】

海岸漂着物を削減し、美しい庄内海岸を実現するため、山形県海岸漂着物対策推進地域計画に基づき、回収、発生抑制に係る各種事業を実施する。

【具体的取組み】

1 回収処理事業

○「美しいやまがたの海クリーンアップ運動」

庄内海岸 20 箇所においてボランティアによる海岸清掃活動を実施。例年 3,000 人以上が清掃活動に参加。さらなる参加者の増加に向け、ホームページ等による広報を実施。

○「飛島クリーンアップ作戦」

実行委員会（構成員：海岸管理者、酒田市、NPO等）を組織し、5月末の土曜日にボランティアによる飛島西海岸の清掃及び普及啓発事業を実施。例年約 250 人が参加。

○「学生応援クリーンアップ作戦」

県内外の大学生により、飛島を中心に、地域での漂着ごみ回収が困難な海岸においてボランティア回収活動を 150 人程度で実施。

○「海岸管理者等による回収・処理」

海岸管理者、港湾管理者、漁港管理者が所管する区域において海岸漂着物の回収処理を実施。

2 環境教育事業

○「とびしまクリーンツーリズム」

県内の小学校 5 年生～中学校 2 年生とその保護者を対象に、飛島において海岸漂着物問題を題材とした環境教育を実施。

7 月～8 月に 1 泊 2 日で 6 回実施、定員 192 名。今年度は 184 名参加（村山：106 人、最上：8 人、置賜：32 人、庄内：38 人）。

○「出前講座等の実施」

県内各地で海岸漂着物問題の出前講座等を実施。庄内地域で 10 回、内陸部で 8 回開催予定。

○「ホームページ運営」

海岸漂着物問題の教育のための資料等を掲載するホームページ「カワカラ・ウミカラ」を運営。

3 普及啓発事業

漂着ごみの約 7 割が陸域部由来と言われていることから、陸域部から海洋へのごみの流出を削減するため、各種普及啓発事業を実施。

○「スポGOMI大会の開催」

ごみ拾い活動に競技の要素を取り入れた「スポGOMI大会」を実施。

○「ショッピングセンター等における啓発」

- ・一般消費者を対象とし、大型ショッピングセンターにおいて海岸漂着物問題の啓発を実施。
- ・海洋センターにおいて、来場者に対し海岸漂着物問題の啓発を実施。
- ・釣り人によるポイ捨てを防止するため、釣り場において、ごみの持ち帰りや海岸漂着物問題の啓発を実施。

○「とびしまクリーンツーリズム」（再掲）

4 山形県海岸漂着物対策推進地域計画の進行管理

○春季、秋季の海岸清潔度モニタリング調査の実施

○山形県海岸漂着物対策推進協議会を開催

○次期「山形県海岸漂着物対策推進地域計画」の策定（～令和 2 年度）